

■農業集落排水整備事業債の状況

農業集落排水事業の借入額とその残高

単位:千円

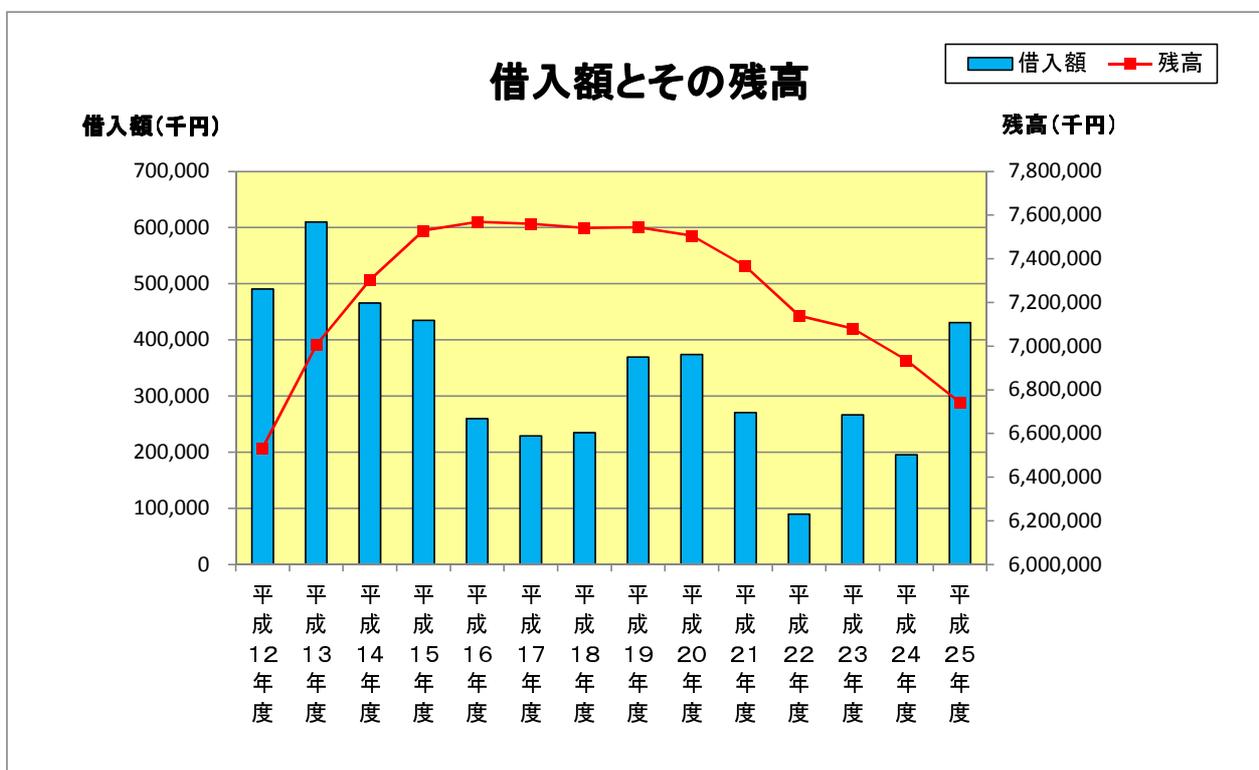
	借入額	残高
平成12年度	490,600	6,533,740
平成13年度	609,800	7,006,030
平成14年度	465,600	7,303,583
平成15年度	434,600	7,529,054
平成16年度	259,600	7,568,344
平成17年度	228,700	7,559,831
平成18年度	234,500	7,541,902
平成19年度	369,500	7,544,387
平成20年度	374,100	7,505,635
平成21年度	270,400	7,365,491
平成22年度	89,500	7,138,851
平成23年度	266,400	7,080,218
平成24年度	195,600	6,936,176
平成25年度	430,700	6,741,175
平成25年度末市全体の借入残高		54,183,737

農業集落排水の整備には、一般に短期間に集中的な投資を要します。その建設財源の中で、国庫補助対象事業にあつては地方負担額の、地方単独事業にあつては事業費の大部分に、農業集落排水整備事業債が充てられています。

その元利償還は長期に渡ることから、現在の利用者だけでなく将来の利用者にも負担を分散させることにより、世代間の負担の公平を図ることができます。

借入額については、市の財政状況を踏まえ、事業を抑制し減少傾向にあります。借換債を利用し利子の抑制に努めているため、一時的に増加しています。

その残高は、平成25年度末で67億4,117万5千円と市全体の借入額の約12.4%を占めている状況にあります。



農業集落排水整備事業債の返済額の推移

単位:千円

	返済額		
	元金	利子	元利金合計
平成12年度	118,701	203,237	321,938
平成13年度	137,510	206,505	344,015
平成14年度	168,047	209,663	377,710
平成15年度	209,129	210,968	420,097
平成16年度	217,610	212,226	429,836
平成17年度	237,213	210,465	447,678
平成18年度	252,429	207,664	460,093
平成19年度	367,015	204,664	571,679
平成20年度	412,852	198,630	611,482
平成21年度	410,544	189,030	599,574
平成22年度	316,140	179,763	495,903
平成23年度	325,033	173,298	498,331
平成24年度	339,642	168,379	508,021
平成25年度	625,702	156,626	782,328

農業集落排水整備事業債はあくまでも借金であり、その返済額(元利償還費)の増加は財政を圧迫する要因となります。

元金、利子ともに増加してきましたが、これから元金はしばらく増加していき、借入額の抑制や借換債の活用により、利子は減少していくと見込まれています。しかし、元金、利子を合わせるとますます増加する見込みです。

平成25年度の返済額は元利合計で、7億8,232万8千円であり、返済額の増加は、一般会計からの繰入金(市税等)等で補填することとなり、市の財政へ少なからず影響を及ぼすこととなります。

